



西部教育局きらりと光る宝もの情報 今月のトピック紹介版

3月号！！

【10の視点】を活かした授業づくり

「教育は人なり」の言葉通り、学校教育の成否は、教職員の資質・能力に負うところが極めて大きいと言えます。

次年度以降も校内授業研究を通して、自校の目指す授業像について全教職員で共通理解を図り、児童生徒の確かな学力の向上に取り組んでいただきたいと思います。

楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動

4月、新しい学年がスタートします。子どもたちは新しい出会いに夢や希望を膨らませています。子どもたちが安心して力を発揮できる学級づくりのためには、始業式に子どもと出会うまでの準備がとても大切です。

新学期の学級づくりのポイントについてまとめていますのでご活用ください。

学校が変わる生徒指導のポイントvol.15

情報モラルの指導においては、一方的に知識や対処法を教えるのではなく、児童生徒自ら考える活動を重視していくことが必要です。

1月に文部科学省で開催された「全国いじめ問題子どもサミット」での福米中学校の取組発表についてまとめていますので、自校の取組の参考にしてください。

幼保小連携の一層の充実をめざして

幼保小連携充実のキーワードは、「互恵性」と「継続性」、「対等な立場からの相互理解」であると言われます。

幼保小連携のポイントについてまとめていますので、互いの「願い」が共有された子どものための「共創の教育」の実現に向けた取組の参考にしてください。

上記、付箋をクリックするか、西部教育局HP「西部教育局きらりと光る宝もの情報」をご覧ください。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/102586.htm>